

はじめに

このテキストは、今から十数年前に「荻窪フォトクラブ」の会員のために書き下ろしたものです。

機械式マニュアルカメラの使い方を知りたい人にとって、今なお全国より問い合わせがありますので、あらためてインターネット上に掲載することにいたしました。当時印刷した物をもとにしているで、多少読みづらいたところもあります。なにとぞその点はご了承ください。

なお、このクラブが現在活動しているかどうかについては把握しておりませんので、興味のある方は各自お調べください。

二〇〇二年九月吉日

佐藤 久典

## 御隠居・熊さんの、おもしろ写真夜話

### 本書の目的と使い方

●カメラの基礎知識については、何となく「わかった気」ではいるけれども、「わかった」という実感が伴わないのが、一般のカメラ愛好者の素直な気持ちではないでしょうか。

●そこで本書では、多くの方の代表的な疑問点をベースに、即戦力となる最低限の基礎知識を、できるだけ具体的に習得できるよう配慮しました。

●ですから、本書を読むにあたっては、カメラを手元に置き、レンズやボディに触れながら読むようにしてください。(自動露出・焦点式のカメラは、マニュアルに切り換えて下さい)。

●また実際に撮影し、視覚化して認識するという立場で書かれていますので、特に巻末の図式表などは、面倒でも必ず実写テストをして、感覚を磨くようにしてください。

●実写テストのプリントは、A4サイズの紙を二つ折りにして台紙とし、そこへ貼付しながら本の中に綴じ込んでいくと、基礎的な知識を、より自分のものとして捉えることができます。

(注意) 本書はワープロの都合上、二つ折り前のA4サイズがそのページ数となっています。